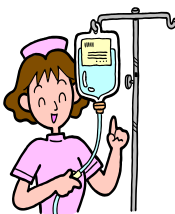
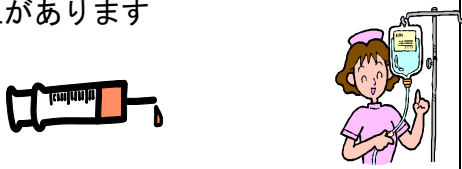
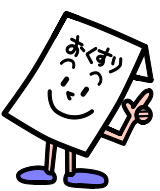
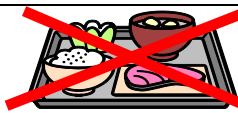
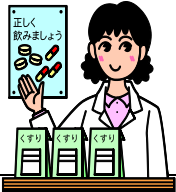
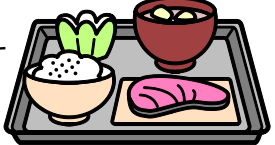


乳房切除術を受ける____様へ

	手術前日	手術当日の手術まで	手術当日（手術後）	1日目	2日目	3日目
月 日	/	/		/	/	/
目 標				・ 少しずつ身体を動かしていきましょう ・ DVDを見ながら少しずつリハビリをしましょう		
検 査 治 療	・ 眠れなければ睡眠剤があります 	・ 手術室入室時間は 時 分の予定です ・ 午後からの手術の場合、 午前中に点滴があります	・ 点滴があります 	・ 点滴が終われば針を抜きます ・ 採血があります 	・ 点滴はありません 	
処 置	・ 麻酔科医が診察します（ただし、休日 の場合は別の日に診察します） ・ 脇の除毛がしてあるか確認します	・ ネックレス・時計・指輪・入れ歯な ど外せる物は必ず外してください	・ ガーゼが汚れていれば交換します ・ 管が抜けないようにテープを貼ります （テープが剥れた場合、教えてください）	→ ・ 回診時ガーゼ交換はしません	・ 回診時ガーゼ交換をして、傷にテープを貼ります	
痛 み			・ 痛みが強ければ痛み止めの注射か坐薬 を使用します			
リハビリ				・ DVDを見ながらリハビリをします 「軽いつっぱり」を感じる程度で無理せずにしましょう		
呼 吸	・ 深呼吸の練習を行います ・ 禁煙してください 		・ なるべく深呼吸をしてください ・ 酸素吸入を行います看護師がマスクを 取り外すまで外さないでください			
安静度			・ 身体の力を抜いて楽な体位をとります （横を向いたり、ベッドを起こすことが できます）	・ 制限はありませんが、管（ドレーン） を持って歩いてください ・ 歩行時、管をひっぱらないように注意 してください		
食 事	・ 麻酔科医師から食事と水分の制限があります 食事（ ）までできます 飲水（ ）までできます 			・ 朝から全粥軟菜食がでます	・ 朝より常食がでます 	
排 泄		・ 手術時間が近くなったらトイレを 済ませておいてください	・ 尿の管が入ってきますので引っぱらない でください	・ 午前中に尿の管を抜き、トイレに行け ます		
清 潔		・ 手術に行く前にうがいをしてくださ い	・ うがいができますので看護師にお申し出 ください	・ 蒸しタオルで身体をふきます 	→	・ 洗髪をします
観 察	・ 入院時に行います	・ 朝と手術前に測定します	・ 頻回に血圧、熱など測定します	・ 朝昼夕測定します	・ 一日一回測定します（午後より）	
その他	・ 看護師が手術に必要なことを説明し ます ・ 術後合併症を予防するために、歯科受 診をしていただきます ・ 手術同意書をお出してください ・ 入院診療計画書をお渡ししますので、 署名の上お出してください			・ 看護師がリハビリの方法について説明 します 	・ 薬剤師が薬についての説明をします ・ （術後 2～4 日目に） 歯科受診があります 	
説明者						

※状態に応じて予定が異なる事もあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医（ ） 担当看護師（ ）

	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目
月 日	/	/	/	/
目 標	・ 管が抜けたら積極的にリハビリを進めましょう、頭の上まで手術した側の腕を上げることができることが目標です			
検 査 治 療				・ 退院できます 
処 置	・ 管は、排液量が 50m l 未満になったら回診で抜きます			
リハビリ	・ DVD を見ながらリハビリをします。 「軽いつっぱり」を感じる程度で無理せずにしましょう			
安静度			・ 制限はありません	→
食 事	・ 朝より常食がでます 			→
清 潔	・ 管が抜けたらテープを貼って、翌日からシャワーが出来ます 			
観 察	・ 一日一回測定します			→
その他	・ 薬剤師が薬についての説明をします 		・ 看護師が退院後の生活についてパンフレットで説明します ・ 退院療養計画書をお渡ししますので、署名の上お出してください	
説明者				

入院負担割合	3 割	7 0 歳以上 (1 割)	7 0 歳以上 (2 割)	7 0 歳以上 (3 割)
負担額	約 3 2 ～ 3 5 万円	約 8 0 , 0 0 0 円	約 8 0 , 0 0 0 円	約 2 6 万円

2022.4.21 ☆

＊入院費は概算ですので診療内容（特に手術内容）、病状によって異なる場合がございますので、ご了承ください。
＊退院日が決まりましたら、請求金額の概算をお伝えする事も出来ますので、病棟クランクまでお尋ねください。
＊入院負担費が3割の患者様は、高額な保険診療ですので、「限度額適用認定証」の申請をおすすめします。